



国際ロータリー第2790地区
The Rotary Club of Yachimata

八街ロータリークラブ週報

<http://www.joy.hi-ho.ne.jp/yachimatarc/>

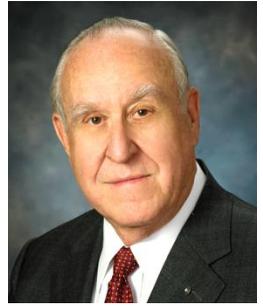
例会場 八街商工会議所 3階 大ホール

毎週水曜日 12:30～13:30

電話 043 - 443 - 3021

FAX 043 - 443 - 7221

創立 1966年(昭和41年)5月22日



国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム
(CHATTANOOGA RC 米国)

会長 鎌形 芳法 ・ 会長エレクト 萬来 謙一 ・ 副会長 山本 和男 ・ 幹事 生形 健一

第51巻 第15号 通巻 第2446号 合併号 28. 12. 7発行
第2447号
第2448号

ガバナー公式訪問

第2445回 2016年11月16日例会報告

【出席報告】

SAA 伊藤 武雄

【ニコニコボックス】

◇安部総理大臣に落花生を差し上げてきました。
生形 健一幹事

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正 出席率%
11/16	32	28	4	87.5		
11/ 2	30	27	3	90	1	93.33
会員総数 36名 (内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 7名) 通算出席率 90.11% 11/2メイクアップ・白土(理事会)						

【会長挨拶】

会長 鎌形 芳法



点 鐘

会長 鎌形 芳法

ソ ン グ

それこそロータリー

お 客 様

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 青木 貞雄様
(成田コスモポリタンRC)
地区幹事長 藤崎 政弘様
(成田コスモポリタンRC)
地区幹事 田中 英之様
(成田コスモポリタンRC)
斎藤 和彦様
(成田コスモポリタンRC)
並木 孝治様(東金RC)

本日はガバナー公式訪問ということで青木ガバナー・高橋ガバナー補佐・藤崎地区幹事長・田中地区幹事・斎藤会員がお見えになっています。後程、青木ガバナーには卓話をお願いいたします。その後に記念写真撮影を行い、続いてクラブ協議会を行いますのでよろしくお願い致します。

八街ロータリークラブにとって11月はとても充実した月間であるといえます。お祭り・新入会員の歓迎会・ガバナー公式訪問・産業まつりと行事も目白押しの中、会員の皆様も多忙を極めるところです。

今、世界がさらに混沌とした時代になったように感じます。しかし、時代とともに変化することは必要であり、変えてよいもの・いけないものの変化しなければならないもの、があると思います。特に伝統文化であるお祭りなどは、受け継がれてきた作法や順序など変えることがなく、日程などは前後に移動して時代にそった対応をしているように見受けられます。

八街RCは前年度にクラブ創立50年という大きな節目を迎え、式典も含め一連の関連事業・記念誌も無事終えることができました。この50年間という八街クラブの歴史の重みを感じました。今までの会員(現会員・物故会員・退会会員)の方々や支えてくださった関係各位の方々のご協力、ご支援があって50年間継続でき、そして今がありその先へ続いていくと思えます。私はRCに入会してから不勉強なこともあり解らない事が多くありますが、今回のRIの定款変更は大変大きな事案であると思えます。八街RCにおきましても変えてはいけないものは変えずに継続し、変化するべきことは会員皆で協議して、新しいRIの定款に添った八街RC(細則)を作っていくと考えています。

最後に、今回5名の新入会員増強におきましては、大野増強委員長が中心となって会員皆様方がこぞ、と少し本気になっていただいた結果に思え、八街RCの歴史の「底力」だと思えます。

以上、ありがとうございました。

【卓 話】 第2790地区ガバナー 青木 貞雄様



本年度ガバナーを拝命しております成田コスモポリタンRCの青木です。

山本地区幹事を始めとして、コ・ホスト・クラブを務めていただいている八街RCの皆さんには、3月5日(土)の地区研修セミナーを皮切りとする三大セミナー、9月13日(火)の地区大会記念ゴルフ大会、そして今年度最大の行事である9月24・25日の地区大会の企画・運営に大いなるご協力を賜り、誠にありがとうございました。

地区大会は、天候にも恵まれ、2日間に催した4つのEventに延べ約3千名の皆様の参加をいただきましたが、その内容、及び運営に多くの参加者より賛辞をいただいております。これも偏に皆様のご努力・ご協力の結果であり、改めて感謝申し上げます。

地区大会では、2008年国際協議会で自ら考案した職業奉仕を幹とする「ロータリーの樹」を発表すると共に、国内・国際ロータリーの要職を歴任された渡辺好政RI会長代理(RID2690PDGで元RI理事)による理解が容易なロータリーの基本、また、変化するロータリーへの対応等の話を伺うことが出来、皆さんも、多くの仲間との親睦を含め、地区大会で何かを学んで頂けたのではと思っています。

さて、Germ RI会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう示唆があったため、本年度は、3クラブが6ヶ所、2クラブが18ヶ所と54クラブは合同、残り29クラブが単独で、7月27日から11月下旬の間に83クラブを53回に分けて公式訪問させていただく予定で、本日は、第50回79クラブ目です。

当地区は昨年度84クラブでしたが、6月末の富津RCのRI脱会により、今期は83クラブ会員2,729名でのスタートとなりました。そして、日本全体では、昨年、富津RCを含め6つのクラブが解散しました。尚、私が所属する成田CRCのコスモポリタンは世界人を意味しますが、実態は地区出向経験者も少ない活動domesticなクラブなので、公式訪問の機会に各クラブの活動を体験させていただくべく、毎回2人の会員が私に同行しています。本日は、先ほどご案内のありました田中・斎藤両会員に加え、地区幹事長藤崎が陪席させていただきますので、宜しくお願いします。

今年5月に創立50周年記念式を執り行った八街RCは、分区では2番目に長い歴史を誇り、会員歴の長い会員を中心にロータリーの基本理念に基づく活動を展開

【幹事報告】 幹事 生形 健一



◎11月20日産業まつりについて

◎12月2日情報研修会について

八街RC 1月 例会スケジュール	
1月 4日(水)	休 会
1月11日(水)	理事会 ・ 通常例会
1月18日(水)	通常例会
1月25日(水)	通常例会

すると共に、地域に密着した奉仕活動、また千葉黎明高等学校のインターアクトクラブ育成等に取り組んでこられました。近年は、台湾芝山RCと友好クラブ協定締結、また米山奨学生を通じたベトナムとの交流事業模索等、国際交流・親善にも力を入れておられるようです。今年度、既に5名の新規会員を迎えられたようですが、地域特性もあり、会員の高齢化・増強等が課題のようです。ベテラン会員のロータリー活動に対する思い、また、長い歴史の中で培ってきた活動のKNOW HOW等につき、後ほどのクラブ協議会でご指導いただければと考えています。

さて、本日は、1)RIのテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針、2)ロータリーの変化と対応、の2つのテーマについて話をします。

John F. Germ本年度RI会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
2. 我々は、ポリオ撲滅に取り組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取り組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。
3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に組み、4つのテストを真に実践できる会員、そして新入会員を暖かく迎え入れるリーダー、クラブが必要だ
4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人をみつける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。

と述べた上で、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17年度のテーマを「Rotary Serving Humanity=人類に奉仕するロータリー」としました。そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタン、更に一旦終息が宣言されたが本年8月以降に4人の発症が伝えられるナイジェリア等における「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取り組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、a)クラブのサポート強化、b)人道的支援の重点化と増加、c)公共イメージと認知度の向上に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする人の集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また、「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれ、答えに窮する会員も多いと思いますが、私は「価値観を分かち合う仲間とのFellowship、即ち、友好を通じて自らの人間性・人間力を高めると共に、自らの職業を通じ、そして自らの職業経験を生かし、あるいは出来る範囲で、周りの人の役に立つことをする心がけを持つ人の集まり」と答えます。尚、ロータリーは、職業上の高い倫理基準を求めています。私は、倫理感とは、職業遂行だけではなく、人間として社会生活をおくる上で身に着けるべき基本と考えます。

既にロータリアンとなり、素晴らしい仲間との出会いを、また、他の人のために役に立つことが出来る機会を与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分かち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、今年度地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、私たちは、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動の追及・挑戦が重要だと思います。

さて、当地区会員数は、RI第1ゾーン最大ですが、1995年4月の4,378名をpeakに減少に転じました。2012年6月末の2,689名が底で、その後わずかながら増加に転じ、本年6月末は2,739名でした。

しかし、地域特性もあり、クラブ間に2極分化が進んでいて、本年7月1日時点では、会員数が最大のクラブが80名に対し最少は5名です。50名を超える大きなクラブが14、40名台9、そして30名台20で、これらの総計は全体の5割強の43クラブです。

他方、残り40クラブは会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんとアンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

- 1) 会員減少期でさえ、当地区では毎年200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会していたことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が「会員増強・退会防止委員会」に改称されたことは、ご案内の通りです。
- 2) 後任が来る大手企業社員の職場間異動を別にする、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年未満、特に入会2~3年でロータリーについての知識と理解が未だ十分でない会員でした。
- 3) 会員歴5年未満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅力がない・奉仕活動への

取組みが少ない、幹部と意見が合わない等が多く見られました。会員増強に関する他地区資料を見ると、入会の背景は会員との職業上の繋がりが大多数で、趣味の仲間も多くありました。退会理由としては、仲間意識の薄れ、親睦活動に魅力が無い等が多く見られます。尚、避けて通ることが難しい問題ですが、日本の会員数の推移はGDPの変化に呼応しているという見方があります。

日本全体の統計では、入会后1年未満での退会者が7%、1~2年未満が10%、3~4年が13%、即ち、入会者の30%は4年以内に退会しているようで、その背景として会員増強に重きが置かれて入会基準が甘くなっているという見方があるようですが、私は、そうではなく、加入したクラブの活動に魅力が無いからではないかと考えます。従って、我々がまず取り組むべきは、縁あって入会した人がロータリアンになって良かったと思うような活動をクラブが追求すること、即ち、今年度RIテーマ「人類に奉仕するロータリー」の第1歩は、仲間に対する奉仕を通じて退会者を減らすことだと思います。

具体的には、出席したくなる例会、参加したくなる親睦・奉仕活動の展開、及びロータリーを理解し、かつロータリー活動に対する関心を深める研修の強化です。

私が学校を卒業して企業に勤め始めた約50年前、職場では、部長は元より、課長の顔を見ることもまれでしたが、1990年代に入って産業のGlobalization、即ち国際化が進むと、企業間競争が激化し、大手企業でも今や課長・部長は元より、役員も率先して仕事に直接携わらざるを得ない状況、言い換えれば職位があがるほどに仕事が厳しくなり、中には、社長も大部屋で一般社員と一緒に仕事をしている大企業も出てきました。ロータリアンの根幹は職業奉仕であり、自らの職業をしっかりと務めることが第1です。

従って、気ぜわしい現在の世で貴重な時間をロータリー活動に割くには、私達は、今まで以上に魅力ある活動を展開しなければ会員の維持、新規会員勧誘は難しいと思います。

ロータリーは単年度主義と言われますが、これは会長、ガバナー等の任期で、会員は毎年変わるわけではありません。クラブ運営は継続性を持って行う必要があります。特に、仲間の拡大に繋がる元気なクラブ造り、研修を通じた会員歴の短い会員の育成、そして、新規会員の勧誘等は永遠の課題であり、継続的取組みをもって対応する必要があります。

会員増強と言うと、「質か量か」の議論が先行し、行動が伴わないケースがよく見られます。クラブの中には、会員が少なくても、会員歴の長い会員を中心に模範的な活動を展開しているクラブもありますが、このようなクラブでも会員の加齢は年々避けて通ることが出来ず、新入会員、特に若年新入会員の勧誘に力を入れる必要があります。

ロータリー活動の経験が浅い私ですが、最近地区委員、ガバナー補佐等を体験し、ロータリーには、その活動・歴史等についての知識が豊富で、研究を常に

怠らない会員が多くいることを知りました。その後、私は、斯かる仲間からロータリーについて色々教えを受けています。クラブには、このようにロータリー活動についての識見に富んだ会員も必要ですが、多くの会員にこのような活動を望むのは難しいと思うと共に、私は、全員がこのような会員である必要は無いと思います。

それよりも、例会等に参加し、互いに意見を交わし、知らないことを学んで成長していくことが大事です。ロータリアンの中には、ロータリー活動を難しく考えたり、神聖視したりする人もいますが、111年の歴史を通じて変化してきたロータリーには、こうでなくてはいけない、あるいはこうあるべきだと言う絶対はなく、それより多様性が重んじられると共に、理念を求めめるよりも実践・行動が重要だと思います。

ロータリーには、落ちていくゴミを拾う人よりゴミを落とさない人を育てよとの言い伝えがありますが、それは落ちていくゴミを拾わなくても良いということでは無いと思います。クラブの目標として時間をかけてゴミを落とさない人を育成することは大事ですが、一日一善、私たちは目の前に落ちていくゴミを拾うこと、仲間に声をかけること、何でも良いから他の人の役に立つことを日々1つはしようではありませんか。これが奉仕の実践だと思います。従って、Germ国際ロータリー会長の言にもある通り、4つのテスト、ロータリアンの目的、あるいはロータリアンの行動規範が実践できる人、また実践しようとする人であれば、誰でもロータリアンになる資質を備えているのではないのでしょうか。日本には長幼の礼と言って高齢者を敬うしきたりがありますが、ロータリー活動においては、私と皆さん、そして、昨日加入した会員と会員歴30年・40年の会員、皆平等です。大事なことは、ロータリーに加入した新会員と私たちが一緒に学ぶ謙虚さを持つと共に、知らないことを互いに教え合い、次の時代のリーダーを育てていくことだと思います。

このため、今年度は、多くの新入会員を対象に研修強化を図ることが出来るよう、地区主催ではなく、AG主催により約10年前まで行われていた分區別会員歴5年未満会員研修を復活させましたが、結果として、ここ2年は秋の行事となっていたIM開催時期を年明けに戻しました。

もう1つ忘れていけないことは、創立25、30年を迎えて会員の高齢化が進むクラブの中に、会員減少が顕著なクラブが見られることです。ロータリーに終わりはないので、クラブ運営は常に課題を見つけ、その解決に継続的に全員で一生涯命取組み、この時期を乗り切ることも重要です。

私は、会員増強と言わず、あえて仲間の拡大と言いますが、全てのクラブが元気なクラブとして充実した活動を追求し、志を同じくする仲間の輪の拡大に繋げていただくよう、今年度ガバナー月信最終頁で元気なクラブを紹介しています。

皆さんにも是非、他クラブの模範となる元気なクラブの活動をガバナー月信で披露して下さい。ロータリー活動にとって大事なものは、RIでも、地区でも、またクラブでもありません。会員の皆さんです。

皆さんは、自らがロータリアンになって良かったと思うことができるような活動を、仲間と一緒に追及して下さい。

尚、RI会長は会員数50名以下のクラブに会員純増1名を求めています。今年度既に

5名の新入会員を迎えた皆さんは、活動の更なる活性化に向け、RI目標以上の会員純増に取り組んでいただくと共に、①来年のR財団100周年に向け、例えば地域奉仕事業にR財団100周年記念事業の冠をつける、②ここ2年続いている地区としてのR財団寄付ゼロクラブOの継続に向けた協力、そして、③IT化が進む国際ロータリーにaccessするためのMy Rotary登録推進等をお願いします。

さて、本日の卓話の2番目のテーマは、変化するロータリーと、私たちの対応です。

今年1月、ガバナーになるため受講が必須の国際協議会に参加した折、来年6月に米国ジョージア州アトランタで開催される国際大会のスポンサーにコココーラ社が指名されたとの発表がありました。

同時に、コココーラの文字とロータリーのロゴマークが印刷された赤いセロファンで包まれたコココーラの瓶が晩餐会の食卓に提供されたことに、私は、ロータリーがこんなことをするのかと驚かされました。

本年4月の規定審議会では、標準ロータリークラブ定款等に近來稀な大幅改定が行われました。8月15日付で地区より日本語版2016年度「標準RC定款」、「国際ロータリー定款」、「国際ロータリー細則」等をご案内したので、皆様には、既に新しい標準RC定款の内容について検討されていると思いますが、RIによると、今回の改訂によりロータリーの目的が変わるわけではなく、目的を達成するための手段に各クラブの選択権を認める任意規定が導入されたとのことです。即ち、改定された規定の中で、義務を伴う規定は主として以下の9つです。

- 1) 会計を理事にする
- 2) 理事会議事録の作成、及び会員への60日以内の回覧
- 3) 少なくとも①クラブ管理運営、②会員増強、③奉仕プロジェクト、④公共イメー、ジ、⑤ロータリー財団の5つの委員会のクラブ内設置
- 4) 出席免除会員の条件に、少なくとも20年以上ロータリアンであることを追加
- 5) Eクラブの名称と定義の廃止
- 6) 2017~18年度以降の人頭分担金引上げ額を現在の年間USD1からUSD4に変更
- 7) 職業分類は残すものの、会員身分の条件緩和(会員の資格条件として「善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、職業上、または地域社会で良い評判を受けており、地域社会・世界において奉仕する意欲のある成人によって構成する」は残りませんが、「国際ロータリー定款」5条の第2節a) 1)から6)が削除され、1)~3)に規定されている有益な事業や専門職務の所有者・共同経営者、法人役員・支配人、あるいは裁量の権限ある管理職等の重要な地位にあること、またそれらの地位からの退職者」がなくなり、非職業経験人も会員になれることになりました。

- 8) ローターアクターとロータリアンの二重登録可能
- 9) 年会費の徴収義務は残ったが、入会金の徴収義務は廃止

これらは本年7月1日以降導入が求められる規定変更ですが、この中で、会員身分の条件緩和、及びローターアクターとロータリアンの二重会員可能は、規定として排除できないものの、新入会員選考にあたり、クラブが別の理由で職業経験の無い人、また、ローターアクターの加入を排除することは可能です。

そして、例外規定として新たに導入された

- 1) 例会は最低月2回開催。
- 2) 従来 of 会合型クラブの一部例会のオンライン化可能
- 3) 祝祭日がある週の例会は休会に出来る等は、採用するか否かはクラブの裁量に任されており、徴収義務が廃止された入会金を徴集するか否かを含め、各クラブが細則でいかようにも決めることが可能です。同時に、従前の運用形態を継続することも可能です。尚、会合規定で例会のオンライン化が認められているため、名称は別にしてEクラブの設立は引続き可能です。しかし、逆に言うと、これら緩和された規定に基づき、①入会金無料、②例会は月2回、③例会の1部をオンライン例会とする、④祝祭日のある週の例会は休会。但し、例会は月2回以上開催が前提。⑤職業経験の無い人も会員にする、⑥RACメンバーも会員にする等の運営形態を採用するクラブ誕生が可能になりました。

ご案内の通り、各クラブはRIの管轄下にあり、地区の管轄下にはないため、私、または地区が、皆さんのクラブの運営形態について指導・指図は出来ない仕組みになっています。従って、地区が統一した運営基準を全クラブに指図することも出来ません。

規定に基づき、規定審議会決定事項は、会議終了後2ヶ月以内に各クラブに報告されると同時に、その後2ヶ月以内の反対意思表示が可能です。そして、反対票が有効投票の5%を超えた規定は、全クラブを対象に再度郵便投票で賛否を問い、多数決で否決されない限り、7月1日に遡って発効します。

このため、標準RC定款等を掲載した日本語版「手続要覧」発行は年末になるのが恒例です。しかし、今年は大きな変更があったためか、My Rotaryで日本語版「標準RC定款」、「国際ロータリー定款」、及び「国際ロータリー細則」が8月中旬発表されました。また、9月中旬には英語版「2016年手続要覧」が発表されました。(RI理事会等で解釈が変更可能なロータリー章典に基づく手続きが、3年に1度改訂される規定審議会決議より頻繁に改訂されることから、手続要覧の白い頁が今年よりなくなるとの案内が規定審議会決定報告書で一旦発表されましたが、ロータリー章典に決議23-34は手続要覧に掲載するとの理事会決議が記載されており、今回も、決議23-34(社会奉仕に関する1923年の声明)、ロータリー目的等は、引続き白い頁として残っています。)

創立50年の歴史の中で、ロータリーの基本理念を追求されてきた八街RCの皆様は、2016年規定審議会決議に拘わらず従来の運営形態を

継続されると思いますが、新標準RC定款等の内容をしっかり認識すると共に、皆さんで十分に話し合い、定款の規定の中で採るべき運営方針を新クラブ細則に反映させていただくようお願いします。

但し、今回の規定改訂に伴いクラブ間で運営形態に差異が出た場合、会員のクラブ間移動が発生する可能性が否めないことに留意して下さい。

皆さんには、このように変化するロータリーの現実を理解すると共に、各クラブがとる様々な運営形態を認める寛容さ、広い心を持って今後の活動に取り組んでいただくようお願いして、私の卓話とさせていただきます。どうもありがとうございました。

【クラブ協議会】

司会 幹事 生形 健一



八街市産業まつり

第2446回 2016年11月20日例会報告

【出席報告】

例会	出席計算 会員数	出席	欠席	出席率%	MU	修正 出席率%
11/20	30	26	4	86.67		
11/9	32	27	5	84.38	0	84.38

会員総数 36名
 (内名誉会員 4名 ・ 出席免除会員 7名)
 通算出席率 89.79%

11月20日(日)八街中学校に於いて産業まつりが行われました。当クラブは例年通り、チャリティーバザーで参加しました。

午後1時より開始し、約30分で完売となりました。売り上げは全額社会福祉協議会等に寄付させていただきます。

たくさんの品物提供のご協力、どうもありがとうございました。



鎌形会長挨拶



平野社会福祉委員長挨拶



